



ボランティア活動


プログラムの企画等の資料

自然体験活動プログラム

屋内活動プログラム

地域指導者ガイド

中央交流の家周辺プログラム

活動名	ボランティア活動			
概要 (セールスポイント)	中央交流の家は公的な教育施設であり、宿泊場所や研修場所の片付けや清掃等は、利用した方をお願いしています。 しかしながら、不十分な場所があることは否めません。 そこで、公共施設を大事に使うという気持ちをはぐくむ観点から、宿泊場所、生活関連施設、研修施設等の環境整備を行う活動です。 また、実施していただいた団体は、写真とともに活動内容を記した掲示物を作成し、他団体にご紹介させていただきます。			
諸条件	場所	所内施設	対象	団体で設定
	所要時間	団体で設定	人数	団体で設定
	時期	全シーズン	天候	降雨時は室内
活動の教育的効果	(1)奉仕の心をはぐくむことができます。 (2)公共施設を大事に使うという態度を培うことができます。 (3)人のために行動することによって、達成感や充実感を得ることができます。			
準備する物	青少年交流の家が貸し出す物		団体が準備する物	
	<input type="checkbox"/> 清掃道具(洗剤、窓ワイパー、バケツ、一輪車、熊手、ビニール袋、ほうきなど)		<input type="checkbox"/> 軍手 <input type="checkbox"/> 雑巾 <input type="checkbox"/> ゴム手袋 など	
活動内容 (手順)	所要時間	項目	内容	備考
		事前	<input type="checkbox"/> ボランティア活動の内容を決めます(場所、内容)。 <活動の例> ・研修室等の清掃 ・宿泊棟の清掃 ・所内のゴミ拾い ・体育館器具庫の整理 ・野外炊事場物品の整理 等 <input type="checkbox"/> 活動内容に応じて、団体内で人数等を分担します。 <input type="checkbox"/> 所からの指導内容を確認します。	・所への要望等をお聞かせください。
	15分	活動方法の説明と安全指導(①)	<input type="checkbox"/> 必要に応じて、以下の指導を行います。 ・ゴミの分別についての説明 ・収集場所の確認 ・使用道具の注意事項	
		活動	<input type="checkbox"/> ボランティア活動	・安全管理をお願いします。
	15分	集合・片付け	<input type="checkbox"/> 貸出物品の返却	
想定されるリスク	<input type="checkbox"/> 野外での活動の際は、スズメバチやとげのある草花に注意が必要です。 <input type="checkbox"/> 気温が高いときや炎天下での作業では、熱射病に注意が必要です。 <input type="checkbox"/> 高所での作業など、危険な行為は避けます。			
指導のバリエーション	<input type="checkbox"/> より自主性をはぐくむために、予め活動内容を提示するのではなく、「どこで・何をするか」を考えさせることも一方法です。			

※①は資料番号を示す

やり方の説明・安全指導

【やり方の説明】

1. 「活動場所は〇〇になります。必ず、グループで行動してください。」
2. 「今日の活動は、(例：ごみ拾い、草取り、ガラスふき、〇〇の整頓など)の作業を中心に行ってください。」
3. 「道具は各グループに(例：窓ワイパー、ビニール袋、窓用洗剤)が用意されています。道具の不足や、破損がないかを確認してから始めてください。」
4. 「ゴミについては、燃える物と、燃えない物に分別してください。ビニールは燃える物として集めてください。ペットボトル、ビン、缶はそれぞれ別にしてください。」
5. 「集めたゴミは、浴場横にあるごみ集積場に出してください。」
6. 「活動時間は、〇〇時間としています。適時休憩をしながら、指示以外でも気がついたところの清掃や整備を行ってください。」
7. 「緊急の場合は、(例：宿泊棟〇〇のロビー)に来てください。」
8. 「時間内に終了しなかった場合も、最終の集合時間(〇〇時〇〇分)には、道具をまとめて、〇〇に集まってください。」

【安全指導】

1. 使用道具と健康状態の確認をする。
 - ・「各グループ、道具の確認をしてください。」
 - ・「体調の悪い人はいませんか。」
2. 施設内の状況に注意する。
 - ・「雨後や雨天時に行う場合、あるいは夕方や日没近くに行う場合は、足下に注意をして行動してください。」
 - ・「冬季は凍っている場所がありますので、転倒などに気をつけましょう。」
 - ・「足下ばかりでなく、頭上の立木の枝などにも気をつけてください。」
 - ・「所内でも作業による通行車両があります。事故にあわないようにしましょう。」
 - ・「夏場の草むらには、毒ヘビやスズメバチがいることがあります。危険ですので、無理な作業を行わないでください。」
 - ・「もし、ヘビやハチに出会ったら、払ったり刺激しないで、ゆっくり離れましょう。」
3. 事故や怪我について注意する。
 - ・「怪我を防ぐため、常に周りの状況を確認しましょう。」
 - ・「道具は正しい使い方をしてください。事故や怪我につながります。」
 - ・「暑い日には、熱中症に気をつけ、水分の補給を忘れないようにしてください。」
 - ・「道具を壊さないよう、大切に扱しましょう。」
4. 緊急な場合は先生に連絡する。
 - ・「事故や怪我など、緊急の場合は、〇〇が本部になっていますので、すぐに報告に来てください。急な天候変化の場合も同じです。」
5. その他
 - ・「他団体も活動していますので、迷惑にならないようにしましょう。」
 - ・「団体で決めている研修中の規則とマナーを守りましょう。」
 - ・「落とし物、忘れ物がないように気をつけて活動しましょう。」